

民生福祉

医師確保策について

質問 医師確保のために、もっと戦略的に取り組む必要があるのではないかと。

答弁 医師確保の戦略として、関係大学等との関係性の保持のほか、特に初期研修医の募集と後期研修医の確保に力を入れている。実際に今回もマッチングには全国から十数名の応募がある。当院の研修医は、全科を研修し、救急も第一線に立って研修するので、病院にとっても、地域住民にとっても非常に大きな力となっている。

医療トラブルへの対応について

質問 医療トラブルを解決する方策の現状と今後について伺いたい。

また、ここ数年の件数と、その結果について伺いたい。
答弁 医療トラブルへの対応については、当院の医療安全対策室が正確な情報を収集し、必要に応じて検討会等を立ち上げ、病院としての誠意ある対応を行っており、医師が直接交渉する

ことなく、安心して医療に専念できる体制をとっている。

また、過去四年間の医療トラブルの件数については、病院の賠償責任保険を使って示談したものは四件、平成十七年に発生し、現在係争中のものが一件、患者側と現在話し合いをしているものが三件となっている。



セーフコミュニティについて

質問 認証を受けて、今後どのような施策を展開していくのか伺いたい。

答弁 今回の認証は、関係団体や市民ボランティア等と市との協働で推進してきた取り組みが評価された結果であると受けとめている。この認証を新たなスタートとして位置づけ、さらに市民への普及啓発を図りながら、市の調査結果等に基づいた環境改善や安全、安心条例等の体制整備を図っ

ていきたい。

また、ボランティアを始め、各種団体や町内会等との協働により、子供や高齢者の事故や自殺予防などの具体的施策を市全体に広げ、着実に推進していきたい。

さらに、このような取り組みをセーフコミュニティネットワークの一員として国内外に情報発信することで、当市が安全、安心なまちとして国内外に広く認知され、国際観光都市としても誘客につながるものと確信している。



セーフコミュニティ認証式典より

新型インフルエンザについて

質問 重症患者が出た場合、市内の診療所に対応ができるのか伺いたい。

答弁 重症患者の受け入れ医療機関は、市内では市立中央病院となっているが、患者が増えたときには、上十三保健所管内である市立三沢病院、公立七戸病院、公立野辺地病院などと協力、連携して対応することになっている。また、さらに感染拡大した場合には、公立病院以外の病院、診療所でも個室管理、またはインフルエンザ専用の部屋による対応など、状況によって入院できるように、上十三保健所が中心となり医療機関と調整して進めていくことになっている。

質問 新型インフルエンザに対する市、学校、その他団体のスポーツ大会、イベント等への対応について伺いたい。

答弁 現在は事業の縮小、自粛要請を行う考えはないが、今後のスポーツ大会などの開催において、感染拡大のおそれが大きい場合には、上十三保健所と協議の上、市の新型インフルエンザ対策本部会議で検討していきたい。

また、開催する場合には、体調不良や発熱などの症状がある方には参加等の自粛

を徹底して呼びかけ、手洗いの励行や消毒剤の設置などで感染防止を図りたい。

ごみ減量への取り組みについて

質問 資源ごみの回収率を上げる手立てはどうなっているか。

また、ごみ減量への取り組みについての考えを伺いたい。

答弁 当市では、ごみの減量化とリサイクルの推進を目的に、資源ごみ集団回収への奨励金の交付、廃棄物減量等推進委員の活動を通じて、ごみの資源化に努めている。また、ごみの再資源化、再利用、発生の抑制、意識の高揚も大切であり、今後も随時市広報等を通じて周知していきたい。

また、大量生産、大量消費、大量廃棄からの脱却を図り、資源循環型社会を形成し、持続可能な社会を構築することは、現代社会に生きる我々に課された使命であり、ひいては地球温暖化防止につながると考えている。こうしたことから、ごみの減量化には積極的に取り組んでいくべきであると認識している。

また、開催する場合には、体調不良や発熱などの症状がある方には参加等の自粛

建設

道路整備について

質問 市民から要望の強い道路、側溝等の整備状況について伺いたい。

答弁 今年度の町内会要望における土木課関連の要望は六十九件あり、それを整備する事業費は約二十一億円と見込まれている。そのうちの六十三件が道路、側溝等に関わる要望であり、土木課関連要望件数の九〇％を超えている。これまで町内会要望に係る道路、側溝等の整備については、制度事業を含め、年間に約五億円を整備を進めてきたが、毎年新規要望も多くなっており、道路、側溝等に係る要望を平均ベースで整備するとすれば、相当の年数を要することから、今後とも緊急性、優先性等を総合的に考慮しながらも、さらなるコスト削減に取り組みながら、計画的に整備を進めていきたい。

